

## 令和元年度第1回倉敷市立市民病院改革プラン評価委員会 議事録要旨

日 時：令和元年11月7日（木） 13：00～13：45

場 所：倉敷市立市民病院 6階 会議室

委 員：佐藤委員長，今井副委員長，大島委員，清水委員，武田委員，渡辺委員 欠席：楠本委員

事務局：江田病院事業管理者（院長），三宅看護部長，島田事務局長，清水次長，渡辺課長主幹，  
吉田主幹，岡部主任

傍 聴 者：報道機関（山陽新聞社）

配付資料：・次第

・倉敷市立市民病院改革プラン評価委員会 資料編

議事等内容

### 1 開会

- ・事務局から委員7名中6名が出席し，委員会が成立していることを報告

### 2 病院事業管理者挨拶

### 3 新任委員，事務局紹介

### 4 議事

【委員長】議事の1番目の平成30年度の経営状況について説明をお願いします。

【事務局】（平成30年度の経営状況について説明）

【委員長】只今事務局から説明いただきましたが，何か質問はございますか。

【副委員長】7ページの診療科別患者数のところで，手術時の麻酔はどうされていますか。麻酔科医は常勤ですか。また，外来患者数の100人はペインクリニックですか。

【管理者】手術時の麻酔は麻酔科医が行っています。常勤医が1人います。外来はペインクリニックではなくて，事前インフォームドコンセントをとるとか，手術のための準備とかを行っています。ペインクリニックとしては，独立したものはしていません。

【委員】3ページの（2）経費削減の委託料の対医業収益比率の評価があまりよくないのですが，委託料の内訳について教えてください。

【事務局】レセプト関係の委託6,500万円程，給食業務4,400万円程，清掃業務2,800万円程，電子カルテの保守業務2,500万円程，警備業務1,300万円程となっています。

【委員】医療を提供していく上での診療そのもの以外の給食や清掃とかは，内部で行うのではなく委託をしていくという考えは妥当だと考えていますか。

【事務局】他の病院と比較できるベンチマーク等があれば，よりはっきりすると思いますが，契約するときに入札やプロポーザル等により，業者選定をすることで費用が安くなるように努めています。

【委員】職員給与費は一般的には50%台を目指すべきと認識しており、範囲を超えているが、見解があれば教えてください。

【管理者】私は当直も外来も入院診療も全部しているので、現場での人員が過剰か不足かは分かるつもりですが、過剰ではありません。過剰ではないですが、一番大きなウェイトをしめているのはやはり看護師で、長く勤めてくださるということで、給料が年功序列的に上がり、退職金もすべて含めるので、給与費は多くなります。外来看護師は不足しており、まったく余剰のない状況でやっています。コメディカルスタッフも余剰なく、ぎりぎりの線で雇用していますし、事務職員も少ないと思います。昨年度は収入が少なかったのも、こういう状況になっています。給与費の削減ができないとしたら、他のことで無駄なことを省いて、人材をフル活動して、もっと患者さんに来てもらえる病院にするしかないと思っています。いい人材を吟味しながら少しずつ補強している状況ですので、ご了承ください。60%台前半にもってくるように努力していきます。

【委員】状況は分かりました。ありがとうございました。

【委員長】他には何かございますか。

【委員】入院患者数を増やすのに地域連携をしていかないといけないと思いますが、児島地区での地域連携は今後どのようにしていきますか。

【管理者】地域連携はとても潤滑にできています。当院では「地域連携担当者の会」を隔月にて開催し、倉中、川大、児島地区の医院・病院や施設の連携室の方々に集まってもらって、「どのように連携していこうか」「当院がどういう役割をしたらいいのか」等いろいろ話し合いをしています。当院がもう少し診療機能がアップしてくれば、入院患者ももっと増えてくると思います。今年度になって160人を超える、170人以上の数字もでてきているので、もう少し待っていただきたいと思います。

【委員】全体に患者数が減少しているのは、このエリアの方が病気にならなくなったということでしょうか。

【管理者】確かに元気な高齢者が増えてきているのですが、新規の入院患者数は少しずつですが増えてきています。入退院の回転がよくなったというか、急性期の病院に向かって徐々に進んでいるような感じがします。平均在院日数は2週間程度で推移していますし、DPC制度を平成30年度から導入しましたので、そのこともあります。また、療養病棟は他の病院に機能を分化して、新病院では地域包括ケア病棟だけにしました。療養病棟機能は、児島聖康病院、倉敷シティ病院、児島中央病院、下津井病院などとうまく連携できており、回転がよくなっています。

【委員長】他にはよろしいでしょうか。

では次に移りまして、2番目の令和元年度上半期の経営状況及び今後の見通しについて事

務局から説明をお願いします。

**【事務局】**（令和元年度上半期の経営状況及び今後の見通しについて説明）

引き続き、事業管理者が説明をいたします。

**【管理者】** おかげをもちまして今年9月には、こんな立派な駐車場が完成しましてフルオープンし、利便性が高くなって、これから皆様に喜んでもらえるのではないかと考えています。上半期だけで去年よりは4億円程度収益が上がっているということで、これから下半期は冬場を迎え、感染の季節になると例年、病棟は満床になって回らないぐらいになるので、去年よりはかなり収益が上がってくるだろうという予想です。また、外来患者数を増やしていないところが、いいところですよ。当院での外来は、専門的な外来を診るということです。診療単価が上がってきているのは、その方向に少しずつシフトしている表れかなと考えています。外来はできるだけ専門的なもの、精査が必要なものに絞っていき、日頃は診療所のかかりつけの先生に診ていただくという方向でやっていきたいと考えています。入院単価が上がっているように、重症度が高い患者さんが増えています。また、午後9時半まで内科と外科系の二人体制で救急車をできるだけ受け入れる体制にしましたので、救急車受入れ割合も少しずつ上がってきています。急速ではありませんが、入院患者数も増えてきて、診療単価も上がって、いい方向に行っているかなと考えています。

ただ、当院で足りない診療機能としては、脳卒中リハビリと心臓リハビリで、ぜひやりたいと考えています。急性期脳卒中で倉中、川大に搬送された患者さんが当院でリハビリができたらいいなと考えています。心臓リハビリも心筋梗塞や心不全の増悪で倉中、川大等に急性期は助けていただいた後、自宅や施設へ帰るためのリハビリは当院が担うべき機能ではないかなと考えています。心臓リハビリを受け持つことで、入院患者数の確保にもなりますし、地域住民にとってもいいことだと思います。経営戦略上、この二つのことが実現できたらいいかなと考えています。

また、これからは軽症の救急車搬送患者が増えるのかなと考えています。例えば、高齢者の方が転んだとか、誤嚥したとか、慢性心不全が少し悪くなったとか、そんな高度急性期の医療までは要らないけれども、一人暮らしの方も多いいということもあって、不安だからとか夜間で救急車を呼んだとか、当院がそのような救急車を出来るだけ受け取る努力をして、そして重症度を選別して対処してゆくという方法が、役に立つのかなと思います。その辺を考えながら、当院のこれからの医療を進めていきたいと思っています。

周産期医療は、おかげさまで産科事故はなく、分娩数は、まだまだ少ないですが、順調に認知も進んできていると思います。小児科診療も3人の小児科医が交代で平日は毎日午後8時受付まで夜間診療を行っていますし、また、土曜日、日曜日の当番制も行っていきますので、診療機能はかなり上がってきていると考えています。現在入院患者数は160人、8割

ぐらいは確保できるようになってきたのですが、7対1看護だったら8割で回していけば黒字になると考えますが、当院は10対1看護なので、160人ではまだ黒字にならない、黒字にするためには170人以上、175人ぐらいを年間の入院患者数の目標として、これから鋭意がんばっていきたいと思います。

【委員長】ありがとうございました。大変分かりやすくご説明いただいたと思います。他に何かございますか。

【副委員長】循環器内科の常勤医が確保できたら、心臓カテーテルもしていくのですか。

【管理者】心臓カテーテルはしません。

【委員】もしするのだったら、もっと大変だろうなと思ひまして。

【管理者】そこは機能分化していきます。当院は、心筋梗塞とかは診断して、倉中等に送ります。実は心臓リハビリができるところが児島地区にはないので、当院が心臓リハビリを行って、おうちに帰ってもらうという形に早くしたいです。

【委員長】基本は医者確保ですか。

【管理者】当院では、ありがたいことに10年前よりは常勤医師数は倍増しています。このような建物ができて、これだけ皆さんにご支援いただいていたら、後は心臓リハビリができて、脳卒中リハビリぐらいはできる病院にしたいと思います。がんの緩和ケアにおいては、認定看護師が2名いますし、倉中、川大、成人病、岡大病院など、いろんな病院から緩和ケアの対象患者さんが紹介され入院しています。各診療科の医師が緩和ケアのこともきちんと勉強して、主治医として対応していますし、週に1回は、岡山大学病院から緩和ケア専門医が総回診して、指導や薬の調整とかをしてくれています。かなりレベルの高い緩和ケアができています。6階病棟はありがたいことに本当に静かな快適な個室病棟で、大変人氣が高く、いつも満床でいろんな方が利用してくださっています。

【委員長】倉敷エリアの中より大きな病院と小さな開業医と市民病院との連携関係とかも十分考えて、その中でどのように伸ばしていくのかを大変配慮してやられているなど感心しながら聞かせていただきました。

その他のところで他に何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。以上で予定していた議事は終了となります。以上をもちまして改革プラン評価委員会は終了とさせていただきます。委員の皆様には議事の進行にご協力をいただき、また、有益なご意見、ご質問等をだしていただきまして、ありがとうございました。

## 6 閉会